

2024年9月14日－令和6年度第4回 グラム日本人学校 定例理事会議事録

時間： 午後5時～午後7時15分 (ChST)	欠席者：木村・今津
場所： 日本人学校会議室	議長：小和野
出席者：権田、小和野、時任、井上、許（議事録上敬称略） （オンライン参加）武石、渡辺、伊藤、柳澤 （オブザーバー）菅野、小林	記録：渡辺

2024年8月10日予定の第4回理事会は、流会となり、今回が第4回理事会となる。  
定数確認：理事の全員参加により本会議は正式に開催されることが確認された。

議題：

各項目に関する事前説明に対する回答は別途資料を参照。

## 1. 報告事項

### 1.1 学校財務 予実採算報告（渡辺）

【資料 1.1\_1 予実管理表(8月分) 資料 1.1\_2 会計報告補足資料 資料 1.1\_3Bank Recon】

渡辺理事より8月末時点での期末着地見込みに関する説明がされ要旨は以下。

- ・学校運営収支が今期見込みで推移した場合、キャッシュが毎年9万ドル近く減少する。この状態が続いた場合、体育館ローンの完済（2028年度期中まで）が危うい状況。またローン返済ができて学校運営収支がマイナスでは、学校運営継続は非常に困難。
- ・この状態から脱するためには無駄なコストは削減ししつも、進行している「魅力ある学校作り」に関する取り組みを進め（必要な支出は許容）、2025年度末をめぐり生徒数の今後の増加が見込めるかを見極めることが必要。
- ・なお一層理事一丸となって学校経営改善へのアイデア出し、取り組みが必要。

### 1.2 出張報告（時任）

【資料 1.2 持続可能な学校運営に向けた取り組み】

時任理事から9月12日にJOESの要請で、文科省、外務省、JOES及び全世界全日関係者の参加した会議でのオンラインプレゼン資料の説明がされた。テーマは「持続可能な学校運営に向けた取組み」、要旨は、昨年からの学校改革（プレジデントの新設、理事構成員の変更、新施策（未就学児無料親子教室、サマースクール、体験入学、日本語会話教室他）の展開）の紹介と現状説明。理事会と執行部（全日、補習、幼稚）を連携する学校責任者としてのプレジデントを設置した意義は、One Teamの形成、中長期での学校戦略の実施、及び、新たなマーケットの開拓・魅力ある学校づ

くり（出島ではなく地域に密着し魅力的な日本らしい教育の幅広い提供）であると、紹介。

尚、同参加者からの質問として、ローカルを対象とした日本語教室の開講の方法等。また、コメントとして、理事メンバーがグアムだけでないことに非常に驚いたとのこと。

尚、前回理事会から持ち越しの検討事項である中期経営計画は、当初9月ごろに方針を出す予定になっていたが、時任理事より、具体的な戦略の実行可能性や費用対効果を精査中であり、スケジュールの後ろ倒しの要請あり。中期計画のステークホルダーへの発表を来年1月とし、そこから逆算して理事会内での中期計画決定をすることを検討。全日、補習校とも次年度の具体的なカリキュラムの決定もそれに足並みを合わせる予定との報告があり、了解された。

### 1.3 日本からの短期留学受入れについて（出張報告）（時任）

#### 【資料 1.3 港区中学生生徒受入れプロジェクト】

時任理事が日本に出張し、港区教育委員会と面談、掲題プロジェクトの説明を行ったとの報告。JSGの思惑としては、減少している全日児童生徒数の底上げと、6月の体験入学時期をいろいろな児童生徒を受け入れる Diversity Month とし、一か月の短期で日本の児童生徒を受け入れることで、在校生にもいろいろな新しい刺激をもたらしたい。特に日本において不登校生徒が増えている今、グアムの地で新たな気持ちにリセットして通学する体験をしてもらいたいというもの。また、より長く滞在したい児童生徒には、将来的には学生ビザの取得等も検討実施し、最終的には交換留学等も視野に入れての話し合いとなった。

尚、武石理事より、これら学校の新施策のための出張に関しては、旅費や日当等必要な費用は学校が拠出すべき、出張旅費規程を作成すべき、との要請あるも、時任理事より、斯様な決算状況である学校にこれらの費用の拠出をお願い出来ないので、今次の出張は自費で負担するとの発言あり。

## 2. 討議・承認事項（○ 起案者）

### 2.1 【承認事項】 宮城教育大学附属幼稚園への職員派遣にともなう予算外支出について（時任）

#### 【資料 2.1\_稟議書】

時任理事より予算外支出に関する提案があった。幼稚部を世界に数校しかない日本式イマージョン教育の発信拠点にレベルアップさせ、日本式幼児教育の発信拠点とするための教員の教育の一環として、魅力ある学校とするために拠出が必要。

許理事より、宮城教育大学に派遣するのか質問があった。それに対して時任理事より以下の説明があった。

- ・宮城教育大学とはすでに協定が存在する
- ・現在の幼稚部教員に必要な知識を会得することができることを出張で確認している。  
→\$3,030 支出（予算比追加は\$1,530、\$1,500 は予算策定済み）の承認がされた。

## 2.2 【討議事項】 学校理事会開催頻度の見直しについて（渡辺）

### 【資料 2.2\_理事会開催頻度の変更について】

・渡辺理事より、現在の理事会がプレジデント報告が中心となっているが、他方プレジデントは、魅力ある学校作りや、日本語会話教室、補習校担任等、特に土曜日は非常に多忙であり、審議・協議事項があまりない中での理事会の毎月開催は、効率が良くないこと、報告であればメール等の媒体を駆使して可能であることなどから、隔月・奇数月開催に関する提案がされた。

・権田理事より毎月コミュニケーションをとったほうが良いのではないかと提案があった。

→以下の条件により承認され、次回の実開催の理事会は11月9日に予定された。

- ・必要であれば Special meeting の開催を行うこと
- ・予算管理は毎月書面で報告すること。また報告は Google ドライブを活用すること。

## 3. 各部報告

### 3.1 PTA より報告（柳澤・許）

#### 【資料 3.1 補習授業校 PTA 活動報告】

・柳澤理事より全日 PTA の活動について報告があった。各種イベントへ精力的に取り組むことが報告された。

・許理事より補習校 PTA の活動について報告があった。全日同様各種イベントへ精力的に取り組むことが報告された。

・時任理事より、学校の One Team 醸成のために、また、保護者とのより深い関係構築も考慮して、また、11月開催予定であった秋祭りがなくなったこともあり、11月29日にファミリーデー（BBQ Party）を実施する予定であるとの説明がなされた。

### 3.2 施設関連報告（許）

#### 【資料 3.2 施設関連報告】

許理事より各種施策の進捗状況に関する報告がされた。

### 3.3 人事関連報告（伊藤）

#### 【資料 3.3 人事関連報告】

伊藤理事より、資料に基づき人事関連の報告がされた。

### 3.4 政府支援(全日・補習校講師の給与、選ばれる在外教育施設、安全対策費)等について (菅野オブザーバー)

菅野オブザーバーより以下の報告がされた。

- ・領事館の日本人学校担当が菅野さんより福士さんに代わること
- ・政府支援(全日・補習校講師の給与、選ばれる在外教育施設、安全対策費)等について説明があった。
- ・最近のグアムでの車上荒らしについて注意喚起がされた。

### 3.5 ご挨拶 (菅野さん/福士さん)

新しく学校を担当される福士さんよりご挨拶があった。北海道警から、在ドイツ大領事の経験あり。外務省に転職し、今次赴任。警察庁からの派遣の任期は2年であるが、外務省員として、書記官としての赴任であるため、3年程度の駐在となるとのこと。

### 3.6 寄付金授与(日本人会チャリティゴルフ/フィッシュアイさま)

#### 【資料 3.6 寄付について】

- ・日本人会から寄付がされ、権田日本人会会長より時任プレジデントへの小切手の贈呈がされた。
- ・小和野理事より、寄付について、用途を明確にし、今後も継続して寄付がいただけるようにすること、学校職員に寄付をもらったことを報告することが時任プレジデントに伝えられた。
- ・柳澤理事より、現在ツバキタワーで実施している寄付金によるファンドレイズについて紹介があり、ある一月を日本人会・日本人学校のファンドレイズの月として運用することで、学校の赤字削減の一助となればとの提案。日本人会で実施の検討をしてはどうかと提案があった。今後日本人会で検討いただくことになった。

### 3.7 井上理事の海外赴任挨拶

今月末でベトナムに赴任される井上理事から、今後はオンラインでの参加となりますと挨拶があった。

## 4. 次回の予定

第6回 学校理事会 11月9日(土) 17:00より

以上